耳鼻咽喉科・眼科・頭頸部外科

福山市沖野上町

最新・最適の感覚器医療を福山から発信

堀病院

（分院・耳鼻咽喉科東手城医院）

宇髙毅 院長（分院・平木 信明 院長）

（※分院は118～119ページ掲載）

特色

・耳鼻咽喉科・眼科の高度な治療が同時に行える、中四国で数少ない専門病院
・高いレベルで幅広い手術に対応。年間総手術数は1400件以上
・受付・検査・会計などのシステムの効率化を図り、病院の在時間の短縮に注力

福山市沖野上町 3-4-13　TEL 084-926-3387
H　P　http://hori.or.jp/
駐車場　87台

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	休診
15:00～18:00	○	△	○	△	○	休診	休診

＊祝日は休診　△眼科のみ火曜、木曜午後は休診

診療科目	診療・検査内容
耳鼻咽喉科	慢性中耳炎、突発性難聴、耳鳴症、めまい症、慢性副鼻腔炎（蓄膿症）、アレルギー性鼻炎、睡眠時無呼吸症、各種感染症など
眼科	眼科一般診療（結膜炎・白内障・緑内障・網膜疾患など）、眼鏡・コンタクトレンズ処方、視野検査、斜視検査など
頭頸部外科	頭頸部腫瘍など
特記ポイント	専門外来（無呼吸外来・補聴器外来など）、耳鼻咽喉科診療機器（4K内視鏡システム、手術用ナビゲーションシステム、耳鼻科用CT、神経刺激装置など）、眼科診療機器（加齢黄斑変性症治療用レーザー装置、共焦点走査型ダイオードレーザー検眼鏡、手術顕微鏡など）。一般病床35床

病院の概要

●診療科目と領域

同院は耳鼻咽喉科と眼科を併設し、国内では珍しい感覚器診療を専門とした病院。宇髙院長は耳鼻咽喉科を担当し、外来での治療を行うだけではなく、入院・手術でしか改善が見込めない疾患に対しては、積極的に入院・手術を行うように努める。中耳炎、蓄膿症、白内障などの各科単独の手術はもちろん、眼窩骨折や鼻涙管閉塞などの耳鼻咽喉科・眼科の境界領域の手術まで幅広く対応できるのが特徴。福山・尾三、岡山県西部などの近郊地域はもとより、広島市や愛媛県、山口県から通院する患者も少なくない。院長が力を注ぐのが「診察技術の向上」と「院内の滞在時間を短くすること」。滞在時間の長さは今の医療環境では大きな課題で、通院がおっくうになり治療が遅れる原因に。同院では、受付から会計までのシステムの効率化を図り、病院の滞在時間をできる限り短縮。独自に開発したアプリで簡単にインターネット予約ができ、スマホをかざすだけで受付が完了（診察券不要）。さらに、診察後に会計を待たずに帰宅が可能な「医療費後払いシステム（有料）」を中四国地方で最初に導入した。

病院データ

沿革	1976年11月耳鼻咽喉科医院開院。1981年増床・移転して「病院」に。2011年東手城町に分院「東手城医院」開設、法人を宇髙毅が継承。2014年11月新病院完成、徹慈会に改名(法人名)。2015年4月眼科開設。
実績	耳鼻咽喉科：鼓室形成術／62件、鼻内副鼻腔手術（内視鏡下）／316件、後鼻神経切断術／106件、唾液腺腫瘍摘出術／16件、声帯ポリープ切除術／17件など、眼科：硝子体手術／63件、PDT／60件、白内障手術／317件（全2017年）など多数
連携病院	福山医療センター、脳神経センター大田記念病院、福山循環器病院、福山市民病院

●診療ポリシー【堀病院（耳鼻咽喉科）／宇髙院長】

「最新・最適の医療を迅速かつ安全に提供する」が宇髙院長のモットー。学会にも積極的に参加し、最新の医療技術・医療機器を積極的に取り入れるよう心がけている。「地方の開業医は狭い世界に閉じこもりがちで、最新の医療から離れていく傾向にあります。しかし、それは当院を頼りにしていただいた患者さんに対して失礼なこと。可能な限り、あらゆる手段を使ってゴール（治癒）をめざした治療を行っていきたいと思っています」と語る院長。

耳鼻咽喉科の診療機器に関して近隣の大病院以上の機器を揃えている」と自負する院長。2015年に導入した4K内視鏡システム（同院が日本初導入）は、クリアな画像で、細部にわたって正確・安全な手術を可能にした。ほかにも手術用ナビゲーションシステムなど、開業医では珍しい最新鋭の機器を多数備える。

全国の医師と協力しながら治療を進めていくのも同院の特徴。耳鼻咽喉科の常勤医師は3人だが、東京・大阪・福岡の第一線で活躍する医師に顧問を務めてもらい、手術の執刀も依頼している。「少人数の病院では、時間の経過とともに、技術向上が滞りがちになる可能性が高いです。ですから、外部の医師たちとお互いに常に刺激し合いながら、医療技術の向上に努めています」

高級ホテルのような洗練された空間

耳鼻咽喉科で病院という形態は全国で 5 院のみ

宇髙 毅
（うだか・つよし）

PROFILE

経　歴	愛媛県今治市出身。愛光高校卒業。1996年産業医科大学医学部卒業。産業医科大学助教、九州労災病院耳鼻咽喉科部長、熊本労災病院耳鼻咽喉科部長を経て、2010年10月同院赴任。2011年4月院長・理事長就任。得意分野は慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎（蓄膿症）、アレルギー性鼻炎に対する手術治療
資格・所属学会	耳鼻咽喉科専門医。補聴器相談医。日本耳鼻咽喉科学会。日本鼻科学会。日本耳科学会。耳鼻咽喉科臨床学会
趣　味	おいしいものを食べること、読書
モットー	最新・最適の医療を、迅速かつ安全に提供する

●院長の横顔

子供の頃から大きな建築物に興味があり「橋を造ったり、トンネルを掘ったりする仕事に就きたいな」と思っていた。あるとき、橋やトンネルを造る人の健康管理も重要な仕事だと気付き、働く人を支える医師（産業医）をめざすことに。

耳鼻咽喉科を選んだのは、内科的・外科的要素の両方があり、メリハリがあるから。全く縁のない福山という土地に来て、2011 年に同院を継承。当初は患者の紹介もほとんどなかったが、地域医療に貢献したいとの思いからさまざまな活動に参加。現在では、耳鼻咽喉科・眼科を合わせて年間 1000 件以上の紹介を受けるまでになった。（※紹介件数:耳鼻科／ 653 件、眼科／ 360 件）

●院長からのメッセージ

当院は、最新鋭の設備と高い技術を持つ医師を集め、一開業医でありながら、大学病院などと同レベルの検査・手術・治療を実現しています。

病院に行くとなると待ち時間もハードルになりますが、当院ではできる限り病院の滞在時間を短縮する体制を整えています。ちょっとした変化や心配事があれば、躊躇（ちゅうちょ）することなく早めに受診してください。

●診療ポリシー【東手城医院（耳鼻咽喉科・アレルギー科）／平木分院長】

同院は、子どもから高齢者まで地域の人々が、安心して受診してもらえるような地域医療に尽力している。

耳鼻咽喉科は、耳・鼻・咽喉（のど）の病気を診療するが、患部が外から見えない場所のため、病状がなかなか理解しづらい特徴がある。同院では、電子ファイバースコープなどで観察した所見や画像を、一緒にモニターで確認することにより、できるだけ病気の理解を深めてもらえるように心がけている。実際に見て確認してもらうことや充分な説明などで、納得・安心してもらい、治療根拠のある診療の提供をめざしている。

また、堀病院（本院）のサテライトクリニックであるため、手術や緊急な入院治療などが必要な場合でも、本院と連携して迅速に対応することが可能であり、患者の安心につながっている。

東手城医院の外観

東手城医院の待合室

福山市東手城町 1-3-11　TEL 084-983-3341
H　P　http://www.healthcare-mall.jp/shisetsu/higashiteshiro.html
駐車場　250 台（ヘルスケアモール内）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00 ～ 12：15	○	○	○	休診	○	○	休診
15：00 ～ 18：30	○	○	○	休診	○	休診	休診

＊祝日は休診

平木 信明
（ひらき・のぶあき）

PROFILE

経　歴	福岡県北九州市出身。福岡県立小倉東高校卒業。1999年産業医科大学医学部卒業。産業医科大学助教、北九州市立八幡病院、和歌山医科大学耳鼻咽喉科、九州労災病院、浜松労災病院、熊本労災病院を経て、2011年2月東手城医院院長、2014年4月医療法人徹慈会副理事長就任
資格・所属学会	耳鼻咽喉科専門医。補聴器相談医。日本耳鼻咽喉科学会。日本鼻科学会。日本耳科学会
趣　味	サイクリング、読書
モットー	患者さん各々に合わせた、最適な治療の提供を心がける

●分院長の横顔

小学生のときに、父親が脳腫瘍（のうしゅよう）（聴神経腫瘍）の手術を行ったことをきっかけに医師を志す。耳鼻咽喉科医を選択したのも、そのときの影響が大きかった。

大学卒業後は、北九州市で小児患者が最も多い八幡病院で、小児耳鼻咽喉科疾患の治療に携わり、和歌山県立医大では中耳炎の研究を行う。また、大学病院や労災病院などで耳鼻咽喉科全般の手術などの研さんを積むとともに、鼻閉と睡眠障害、アレルギー性鼻炎の関連についての調査・研究などを行う。

2011 年に福山地区に着任。「今までの経験を生かして、福山や近隣の地域医療に貢献したい」と、堀病院（本院）と連携しながら診療を行っている。

●分院長からのメッセージ

患者さんにとって最適な医療を提供できるよう心がけています。できるだけ最新の情報を入手し、根拠のある治療を行いたいと思います。また、必要な検査や治療はしっかり行う一方で、通院が無駄に長引かないようにしたいと考えています。何気ない些細なことでも構いません。お気軽に相談してください。